

長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第11号
(令和元年 6月)

文責 西澤 庄藏

「地域の力」もお借りして、学校の教育活動が成り立っています。

06/19(水)～21(金)期末テストがありました。ご家庭でも、お子様は「学習モード」全開で勉強に奮起したと察します。テスト期間中だけではなく、今後も、家庭学習の大切さについては、啓発をしていく予定です。今週、いよいよテスト結果(答案用紙)が返却されますので、叱咤激励等、お声かけ願います。

さて、今回は、読書の取組についての紹介です。



写真は06/11(火) 1-1の朝読書の様子です。

(写真のとおり)今年度も、月1回、読み聞かせグループ「紙ふうせん」の方々をご派遣いただき、学級単位で、絵本読み聞かせを取り入れていく予定です。

このように学校は「地域の力」もお借りして多様な学びを展開しています。今後も「地域連携」を学校づくりの一つの柱に据えて取り組んでいきます。

毎週木曜日のノーメディアデーの取組の一つとして家庭での読書も推進しています。そのため、学校図書館に置いている本を大いに活用してほしいと思います。

平戸市では毎年多額の予算をいただいて学校図書館に多くの書籍を購入しています。「本との出会い」は「多感」と言われる中学時代の人間形成に役立つと考えます。電子メディアが主流の昨今だからこそ活字に触れる時間を一日の中で意識してつくってはいかがでしょうか。

今年度も「学級力向上プロジェクト」の取組を実践しています。

先週、学級活動「学級力向上プロジェクト」の取組を参観しました。この取組は、田中先生が提唱していることを参考に、一昨年度から推進しているものです。

「学級力向上プロジェクトとは、子どもたちが学級づくりの主人公となって、達成力・自律力・対話力・協調力・安心力・そして規律力からなる学級力を高めるため、学級力アンケートで自分たちの学級の様子をセルフ・アセスメント(自己診断・自己評価)することを通して、毎日の学習や遊びの中で意図的・計画的に取り組む実践的な仲間づくりの活動である。」

(早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 氏)

一年を通して定期的に自分自身が所属する学級の状況を見詰め、よりよい学級づくりに一人一人がかかわるものです。ひいては、いじめのない学級づくりにもつながると思います。

【お知らせ】

来週07/01(月)～05(金)「長崎っ子の心を見つめる」教育週間があります。保護者の方々にも学校開放週間として(上記の「学級力向上プロジェクト」の活動はありませんが)学級の様子を自由に参観できます。どうぞ、足をお運びください。

「ご自由にご覧ください」と言われても参観しにくいという声を聞くこともしばしばです。そこで、最終日に、道徳の授業を公開します。その後に懇談会も予定していますので、どうぞ、多くの方々をお誘いいただき、ご参観いただければありがたいです。

07/05(金) 14:10開始 特別の教科「道徳」 公開授業